



TOKYO
SHIMBASHI
ROTARY CLUB
JAPAN
2016/2017



国際ロータリー2750地区
東京新橋ロータリークラブ

A City Alive with Green and Water
街に緑と水を

WEEKLY REPORT



年次標語「みんなで繋ごう、奉仕の和」

1437号 2017/4/18

本日の卓話

小西悦郎会員 他

「東京レインボーロータリークラブ創立時の背景」

前回の卓話



(創立 32 周年記念講演)
愛宕一ノ部連合町会会長
丸 哲夫 氏
「新橋いま・むかし」
(紹介者: 河村 守康 会員)



新橋はサラリーマンの聖地として昔から栄えてきた。歴史も深いし、色んな方が通過点として関わってきた街。明治5年に鉄道開通。駅舎がルネッサンス建築の洋館で非常にモダンな雰囲気だった。当時の新橋は食肉を早くから消費してきた街（今でも新橋は焼き鳥屋が多いのはその頃の名残り）。

大正5年に東京駅開業。烏森駅が二代目新橋駅（現在のSL広場）になったと聞いている。

関東大震災の後、新橋再開発という大きなチャンス。小料理屋などの小さな店が多くなった。それ以降、それまで少なかった芸者が新橋でも増えた。有名な政治家の奥さんになった芸者もたくさんいる。（伊藤博文など）

軍人も非常に多くいた。陸軍の軍人相手に金貸しをして料亭を開いた人物もいる。

終戦後、現在のSL広場のところ（ニュー新橋ビルの跡地）に闇市が出来た。ヤクザ同士のトラブルも耐えず、殺人事件も頻繁に起こっていたし、火災保険を目当てにした火付けも多かった。外から来る人にとっては怖い街だったらしいが、幼い自分たちには格好の遊び場だった。さまざまな事情を抱えた連中との付き合いの中で洞察力も身についたと思う。

【三島由紀夫とのおもいで】

昭和44年11月24日。自分が結婚した日。料亭の女将は客前に出ない。三島から予約が入る。背広姿で5人見えた。女優の話もしていた。その宴席が先生ご自身の割腹の打ち合わせだったと後にわかった。帰り際の三島の台詞「ふ～ん、こんなきれいなカミサンがいるのなら、あの世から時々見にくるかな」は女房の後日談。明くる日、市ヶ谷でのあの事件があった。

創業110年、いろいろな客が来たが、三島先生とのあの思い出が今でも忘れられない。

当時最先端設備の第一ホテル

新橋の名物オカマキャバレー「フロリダ」

芸者と待ち合わせる場所「待合」の文化（烏森）

柳通りの蘇生活動

「新橋の隣り」が銀座！

ルネッサンス建築の駅舎

2016~2017年度 国際ロータリーのテーマ

Rotary Serving Humanity 「人類に奉仕するロータリー」

国際ロータリー会長 ジョン・F・ジャーム



第1484回 創立32周年記念例会報告

■4月11日 例会プログラム

1. 点鐘
2. ローターソング「奉仕の理想」
本日の歌「鉄道唱歌～東海道編～1番」
3. 会長報告
4. 委員会報告
5. 記念講演
6. 点鐘

■出席報告

4月11日の出席者36名 ビジター2名 ゲスト1名
出席率63%

4月4日の出席者 39名 メーキャップ 5名 計44名
会員数58名 出席対象者56名 修正出席率79%

ニコニコボックス

.....

河村 守康 丸様をお迎えして。
長尾 正平 創立32周年記念例会お目出度うございま
す。ますますの発展を祈ります。
金澤 洋 祝 32周年！
中根 正紀 32周年おめでとうございます。

本日の歌「鉄道唱歌 ～東海道編～ 20番」

み ほ まつばら た ご うら
三保の松原 田子の浦
さかさにうつる富士の嶺を
なみ ふなびと
波にながむる舟人は
なつ ふゆ おも
夏も冬とや思うらん

次回例会の予定

次回 4月25日(火)は、河村守康 会員ご紹介
聖徳大学 音楽部 音楽総合学科
教授 茂手木 潔子 氏です。
演題は「 唄半給金～蔵人たちの仕事唄～ 」です。

ふれあいの場

○ 会長報告 (長尾会長)

本日は創立 32 周年記念例会です。新橋ロータリークラブ32周年まことにおめでとうございます。

新橋ロータリーは1985年の4月に東京南ロータリークラブをスポンサークラブとして、新橋駅を中心とした地域で創立以来の精神である誇り高さクラブをめざして、一に親睦、二に親睦の合い言葉をもとに奉仕活動・親睦活動をおこなって参りました。柿崎の人々との交流を通じた親睦、カンボジア(バイヨン中学校)への机や椅子の寄贈といった国際奉仕活動など、数々の活発な活動を行っています。青少年交換留学生としていらしているマリファさんもと2ヶ月で満了となりますが、日本の生活にも馴染み、日本の友人もでき、国際親善の使者としての責任をしっかりと果たされておりす。また本年度は第二次戦略計画の最終年度にあたりますが、60人以上の会員体制維持、財務の健全化といった目標も達成できる見込みでございます。今後、創立40周年、50周年に向けてますます発展していくことと期待いたしております。

○委員会報告

・ クラブ奉仕委員会 (鞍掛委員長)

来週(4/18)、来年度からこちらのほうにご参加いただくレインボークラブから11名中9名が参加されます。その際は皆さま出来るだけ散らばってテーブルに着き、新橋ロータリーのあたらしい仲間としてお迎えいただき、コミュニケーションをとっていただけるよう、宜しくお願い致します。

・ 米山奨学委員会 (糸長委員長)

毎月第2週の例会でお願いいたしております、米山奨学への特別寄付のお願いです。今年度もいよいよあと2ヶ月あまりとなりましたが、本日も各テーブルにブルーの封筒を置かせていただいております。お陰さまで寄付金もだいぶ積み上がってまいりましたが、目標の「2万円/人」にはちょっとまだ届いておりません。いくらでも結構です。この趣旨にご賛同いただける方はどうぞご協力をお願い致します。



東京新橋ロータリークラブ

事務局 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-20 虎ノ門実業会館3F

TEL 03-3502-7801 / FAX 03-3502-7802

E-mail: info@shimbashi-rc.jp URL: http://www.shimbashi-rc.jp/

会報委員会 委員長 高橋秀一郎 副委員長 伊賀大祐 委員 富岡洋一 中井隆三 福本正勝 関 隆利